

## 学校概要

川崎小学校  
三重県亀山市

全体工期：平成28年6月～平成31年2月  
学校規模：15学級、450人（特別支援学級 3学級 18人）  
敷地面積：23,358㎡  
延床面積：7,905㎡  
構造：RC造（一部S造）2階建  
※令和5年9月時点

## 地域住民との対話で生まれた 地域の交流拠点となる学校

川崎小学校（三重県亀山市）

### 本事例のキーワード

※ 建築設計

地域と連携

木材利用



### 事例のポイント

校舎の改築にあたり、教職員や地域住民が設計の初期段階から関わり、学校づくりに立体的に参画。校舎完成後も地域住民との交流が継続。

## 事例概要

亀山市立川崎小学校では、校舎の老朽化により防災面や安全面に課題を抱えていたこと、児童数増加により教室数が不足する状況にあつたことから、旧校舎を取り壊し、「地域の中で育つ川崎っ子、地域が育てる川崎っ子」をテーマに新校舎を建設。改築に際しては、地域と学校が密な関係を築き、互いに学び・育ちあえる学び舎づくりを目指し、設計初期から教職員や地域住民等とのワークショップを継続して開催した。

多くの関係者の意見を反映しながら計画を進め、新校舎には、図書室とPCC教室を備えた「メディアセンター」や、地域住民らが気軽に立ち寄れる「ふれあい活動室」、区内外の活動スペース「内のひろば」「外のひろば」「屋根のあるひろば」などを設置。ふれあい活動室をはじめとする地域共有ゾーンは、子どもたちが地域の方々とふれあい、学ぶ場として、また、地域の方々の活動の場として活用されている。

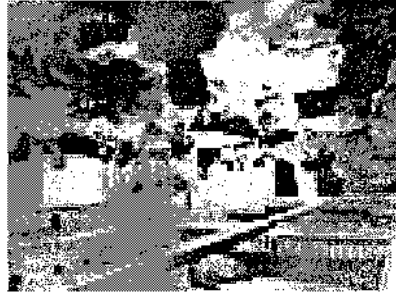
なお、亀山市では「亀山市公共建築物等木材利用方針」に基づき、公共施設における木材の利用を促進していることから、川崎小学校の改築にあたっては、ぬくもりのある校舎とするため、可能な限り木質化している。また、児童用机・椅子に県産材を用いることで、木材への親しみを育てるよう工夫している。



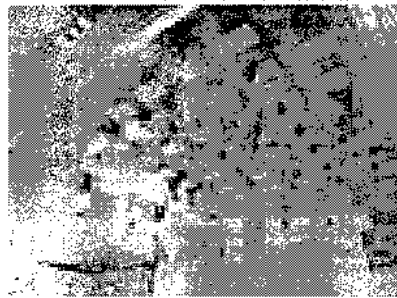
設計から工事・完成後まで、継続した地域とのかかわり

設計初期から教職員や地域住民とのワークショップを開催し、広く地域と情報を共有しながら事業を演じた。ワークショップにおいては、学校と地域が連携してどのように新校舎を使うのか検討し、それをベースに、ホール・ソファの両面で議論を重ねた。結果として、例えば、ふれあい活動室をはじめとする地域共有ゾーンを設けることや、新JIS規格の教室内机に対応してゆとりある教室空間（約8m×9.5m）を整備すること等が計画に反映された。

このような過程の中で、地域住民が継続して学校づくりに関わり、地域の繁栄において学校の基本計画をPRしたり、工事段階で各種イベントを企画するなど、主体的な取組が行われた。学校づくりに関わった地域住民は、閉校後も学校・地域連携活動のキープゾーンとして活用している。ふれあい活動室の方々の活動の場として地域共有ゾーンは、子どもたちが地域の方々とふれあい、学び場として、また、地域の



設計ワークショップの様子



体育館に実寸大の教室を再現し、広さや樹の大きさを確認



地域共有ゾーンを活用した



地域共有ゾーンを活用した  
むかし遊び広場



学校の中にある地域の活動拠点  
「ふれあい活動室」  
(内装は県産材を使って木質化)

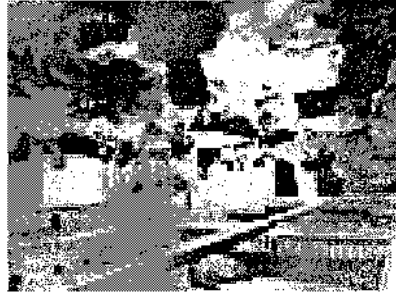


学校のソファとなる  
2階吹抜の多目的空間「内のりば」  
(天井ルーバー等の内装を木質化)

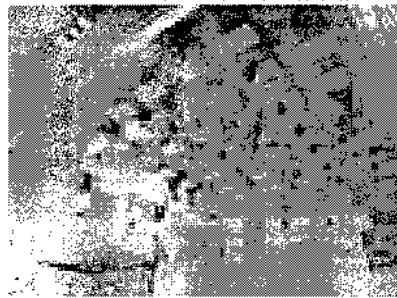
設計から工事・完成後まで、継続した地域とのかかわり

設計初期から教職員や地域住民とのワークショップを開催し、広く地域と情報を共有しながら事業を演じた。ワークショップにおいては、学校と地域が連携してどのように新校舎を使うのか検討し、それをベースに、ホール・ソファの両面で議論を重ねた。結果として、例えば、ふれあい活動室をはじめとする地域共有ゾーンを設けることや、新JIS規格の教室内机に対応してゆとりある教室空間（約8m×9.5m）を整備すること等が計画に反映された。

このような過程の中で、地域住民が継続して学校づくりに関わり、地域の繁栄において学校の基本計画をPRしたり、工事段階で各種イベントを企画するなど、主体的な取組が行われた。学校づくりに関わった地域住民は、閉校後も学校・地域連携活動のキープゾーンとして活用している。ふれあい活動室の方々の活動の場として地域共有ゾーンは、子どもたちが地域の方々とふれあい、学び場として、また、地域の



設計ワークショップの様子



体育館に実寸大の教室を再現し、広さや樹の大きさを確認



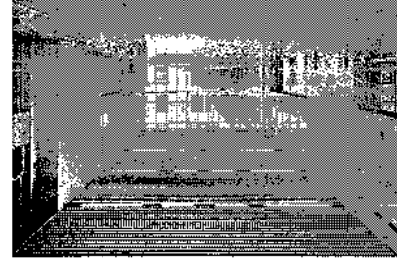
地域共有ゾーンを活用した



地域共有ゾーンを活用した  
むかし遊び広場



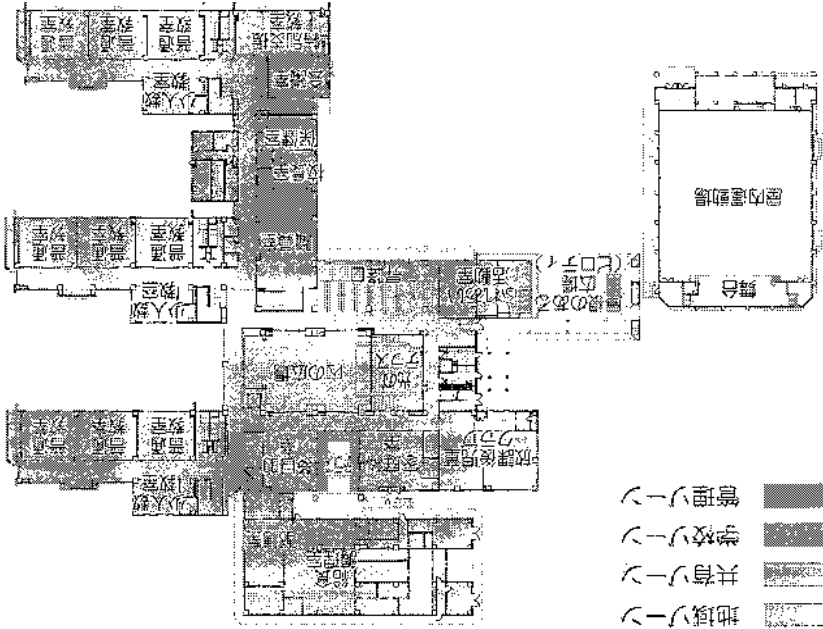
学校の中にある地域の活動拠点  
「ふれあい活動室」  
(内装は県産材を使って木質化)



学校のソファとなる  
2階吹抜の多目的空間「内のりば」  
(天井ルーバー等の内装を木質化)

1階平面図

- 管理ゾーン
- 学校ゾーン
- 共有ゾーン
- 地域ゾーン



2階平面図

